

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																															
仙台総合ペット専門学校		昭和58年10月22日	菅原 一博	〒 980-0014 (住所) 宮城県仙台市青葉区本町2-11-20 (電話) 022-221-2877																															
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人菅原学園		昭和35年3月26日	理事長 菅原 一博	〒 980-0814 (住所) 宮城県仙台市青葉区本町2丁目11-20 (電話) 022-221-1112																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
文化・教養	文化教養専門課程	飼育管理科〔飼育コース〕	平成17(2005)年度	-	平成27(2015)年度																														
学科の目的	動物が健康に過ごすための適切な管理技術と知識、そして動物の魅力をお客様に伝えることができるコミュニケーション力を身に付けた動物飼育の現場で即戦力となる人材育成を目的とする。 また、動物とのかかわり方や、自分の選択する将来の仕事が社会とどのような結びつきを持つのかを理解することで、社会貢献の精神を養うことも目的とする。																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	【取得可能資格】愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、リテールマーケティング、ビジネス能力検定、簿記能力検定、損害保険募集人資格、文書処理能力検定(ワープロ・表計算) 【中退率】7%																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,710 単位時間 単位	720 単位時間 単位	90 単位時間 単位	900 単位時間 単位	- 単位時間 単位	- 単位時間 単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)																																
60人	32人	0人	0%																																
就職等の状況	■卒業生数(C) : 20人 ■就職希望者数(D) : 20人 ■就職者数(E) : 18人 ■地元就職者数(F) : 9人 ■就職率(E/D) : 90% ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 50% ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 90% ■進学者数 : 0人 ■その他 就労移行支援利用 1名 (令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) ・ペットショップ ・アニマルカフェ ・乗馬クラブ ・牧場 ・動物観光施設																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: - 受審年月: - 評価結果を掲載したホームページURL: -																																		
当該学科のホームページURL	https://www.sugawara.ac.jp/pet/																																		
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>1,710 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>120 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,620 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>120 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位時間</td></tr> </table> (B: 単位数による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>							総授業時数	1,710 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	1,620 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位
総授業時数	1,710 単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																		
うち必修授業時数	1,620 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間																																		
総授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																		
うち必修授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>3人</td> </tr> </table>							① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	4人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	3人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3人																																		
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人																																		
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																		
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																		
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																		
計	4人																																		
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	3人																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担任がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
副島 美穂	ぱれっと動物病院 院長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	有限会社 ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台 マネージャー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
石井 あゆみ	アンド・ドッグス株式会社 代表取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
磯村 直樹	株式会社LOVE WALK オーナー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
梅川 明寛	仙台総合ペット専門学校 副校長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
浅野 悟	仙台総合ペット専門学校 教頭	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
菅原 学	仙台総合ペット専門学校 飼育管理科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
千葉 雅司	仙台総合ペット専門学校 ドッグトレーナー科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
木村 拓史	仙台総合ペット専門学校 動物衛生看護科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—
佐藤 千穂	仙台総合ペット専門学校 トリマー科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月予定)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月29日 15:00～17:00

第2回 令和6年2月開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会での意見を参考に、教育連携を結んでいる企業で毎年行っている「ペットショップ実習授業(科目:飼育管理実習)」において、令和5年度からはクラス全体での事前訪問をおこなうことにする。訪問前に企業のマネージャーから事業所についてや授業を実施する上で意識してもらいたい点などを説明していただくことで円滑な実習授業に繋げていくことを目的としている。また、近年人気を博している改良品種のメダカの学びに力を入れていくことで、業界のトレンドに対応できる学生の輩出に繋げる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業を通し業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携協力をいただいている店舗に学生が立ち、従業員および本校教員の指導・援助の下、現場で日ごろ行われている実務へ取り組む。その経験をとおして、生体の管理方法、給餌方法、清掃方法、お客様を迎えるに相応しい挨拶や言葉づかい、限られた時間の中でこなすべき仕事の優先順位を考えて組み立てる時間意識などを身につける。また、動物の命と向き合うことの責任や企業としての社会貢献について学ぶことも目的とする。なお、評価表に基づいて学生一人ひとりの学習成果の評価を企業よりいただき学期末の成績評価に反映している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
マリンアクアリウム学	海水生体の持つ身体的・性質的特徴や、海水魚水槽のメンテナンスを行う上で必要とされる知識について全般的に身につける。授業は海水魚やサンゴ、イソギンチャク生体とそれらを飼育するうえで必要とされる用品の販売、水槽の出張メンテナンス業を営む講師の指導の下、現場で求められる専門的な知識とお客様へより良いアドバイスができる能力を養う。	有限会社オフィスクリアール アクアプロジェクト ナッシュビル
マリンアクアリウム実習	海水魚の飼育器具やその使用方法、水質・生体の管理方法を実習授業のなかで実際に触れながら学ぶことで、水槽メンテナンスの全般的な技術を身につける。実習は、現場同様の施設・設備を用いておこなわれ、グループで協力し、チームで仕事をこなすという意識の向上と、限られた時間の中で質の高いメンテナンス、レイアウトが出来る能力を養う。	有限会社オフィスクリアール アクアプロジェクト ナッシュビル
飼育管理実習(1)	総合ペットショップへ出向き、従業員及び本校教員の指導の下、実際の専門店で行われている業務へ取り組み、その経験をとおして、生体の管理方法、給餌方法、清掃方法、お客様を迎え入れるに相応しい挨拶や言葉づかい、限られた時間の中でこなすべき仕事の優先順位を考え、組み立てる能力を養う。	有限会社ヨネヤマプランテーション ペットエコ森路店

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。

なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ペットショップ実習	連携企業等:	有限会社 ヨネヤマプランテーション
期間:	令和4年10月～令和5年1月	対象:	教員
内容:	総合ペットショップでの実務研修		
研修名:	アクアリウム専門店研修	連携企業等:	有限会社 アクアランドはなばた
期間:	令和4年4月11日	対象:	教員
内容:	アクアリウム専門店の施設・設備、取り扱いの生体、機材の説明・紹介と業界のトレンドについて		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	広報セミナー	連携企業等:	株式会社 リクルート
期間:	令和4年8月17日、18日	対象:	教員
内容:	現在の専門学校状況および本学園の状況について(募集など)		
研修名:	専門学校教員向けセミナー	連携企業等:	公益財団法人 日本漢字能力検定協会
期間:	令和4年10月3日	対象:	教員
内容:	基本から学べる文章カステップ講座		
研修名:	専門学校教員向けセミナー	連携企業等:	公益財団法人 日本漢字能力検定協会
期間:	令和4年11月2日	対象:	教員
内容:	専門知識がなくてもできる文書指導		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	八木山動物公園 フジサキの杜での学習プログラム受講	連携企業等:	八木山動物公園 飼育展示課
期間:	令和5年7月	対象:	教員
内容:	飼育員の仕事と動物飼育をする上で気を付けること、動物園の社会的な役割について		
研修名:	ペットショップ実習	連携企業等:	有限会社 ヨネヤマプランテーション
期間:	令和5年11月	対象:	教員
内容:	総合ペットショップでの実務研修		
研修名:	アクアリウム専門店研修	連携企業等:	有限会社 アクアランドはなばた
期間:	令和5年11月	対象:	教員
内容:	アクアリウム専門店の施設・設備、取り扱いの生体、機材の説明・紹介と業界のトレンドについて		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	専修学校専門課程における障害のある学生・生徒への支援にかかる理解・啓発セミナー	連携企業等:	独立行政法人 日本学生支援機構
期間:	令和5年4月	対象:	教員
内容:	障がい者差別禁止法、不当な差別的扱い、合理的配慮について		
研修名:	青少年のための法律講座	連携企業等:	宮城県司法書士会 法教育推進委員会
期間:	令和5年7月	対象:	教員
内容:	契約の基本と法律講座		
研修名:	リクルートシーンにおけるスーツの着こなし術	連携企業等:	青山商事株式会社
期間:	令和5年12月	対象:	教員
内容:	リクルートシーンにおけるスーツの着こなし方の指導		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等々を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像 ②学校における職業教育の特色 ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想等
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか等
(3) 教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか等
(4) 学修成果	①就職率の向上 ②資格取得率の向上等
(5) 学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備等
(6) 教育環境	①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制等
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動等
(8) 財務	①学校の財務基盤 ②予算・収支計画等
(9) 法令等の遵守	①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護等
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援等
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

コロナウイルスの5類感染症への移行にともない、イベントへの積極的な参加について意見をいただいた。意見を受け、エキゾチックアニマルを中心にイベントを開催している主催団体と連絡を取り、令和5年の10月に富谷市で開催される「東北ペットフェス2023」に教員・学生とで参加をする予定で進めている。イベントには学校の生き物を連れていき、ブースを設けてのふれあいコーナーなどを実施する予定である。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
副島 美穂	ぱれっと動物病院 院長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	有限会社 ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台 マネージャー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
渡辺 和枝	WANder LAND 代表	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
磯村 直樹	株式会社LOVE WALK オーナー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/sugawara/professional-practice-course>

公表時期: 令和5年10月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2) 各学科等の教育	各科の案内
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.sugawara.ac.jp/pet/sugawara/schoolinfo>

公表時期: 令和5年10月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 飼育管理科【飼育コース】)													
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	
	○			キャリアガイダンス	就職対策(筆記・面接)に加え、企業選びをする上で必要となる求人票の見方(社会保険・福利厚生)について学ぶ。	2・通	60	4	○		○	○	
	○			キャリアデザイン	将来の仕事イメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学ぶ。	1・後	30	2	○		○	○	
	○			コミュニケーション	ペット業界で求められる仕事への取り組み方や心構え、業界理解と接客に必要なとされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。	1・前	30	2	○		○	○	
	○			ビジネスソフト実習(1)	「MicrosoftWord」を使用している文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得する。また、文書処理能力検定試験(ワープロ)の対策にも取り組む。	1・通	60	2			○		○
	○			ビジネスソフト実習(2)	「MicrosoftExcel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などにも役立てる技術を学ぶ。また、文書処理能力検定試験(表計算)の対策にも取り組む。	2・通	60	2			○	○	○
	○			ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー(一般常識、職務知識、マナー・接遇等)について全般的に学ぶ。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。	1・前	30	2	○		○	○	
	○			愛玩動物飼養管理	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1・後	30	2	○		○	○	
	○			愛玩動物飼養管理士1級対策	「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨に基づき、愛玩動物(ペット)の愛護及び適正飼養管理の普及啓発活動などを行うために必要な知識を学ぶ。	2・通	60	4	○		○	○	
	○			愛玩動物飼養管理士2級対策	動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	2・後	30	2	○		○	○	
	○			アクアリウム学	金魚や熱帯魚などの淡水魚を飼育するための基礎的な管理方法や飼育に必要なとされる様々な用品の特徴を学び、販売スタッフとしての知識を身に付ける。	1・通	60	4	○		○	○	
	○			マリンアクアリウム学	海水魚をそれぞれの分布域や性質に分類し、魚種ごとの飼育方法や特徴について学ぶことで海水魚飼育者への適切なアドバイスができるように知識を身に付ける。	2・通	60	4	○		○	○	○
	○			アクアリウム実習	アクアリウム実習室内の各種生体の状態を観察し、必要に応じた管理を実践することで適切な管理方法を身に付ける。また、生体販売時に行うパッキングなどもおこなうことで販売スタッフとしての技術を身に付ける。	1・通	120	4			○	○	○
	○			マリンアクアリウム実習	海水魚、珊瑚、イソギンチャクを中心とした海水生体について学ぶ。実習室の海水水槽の管理をとおして専門的で高度な飼育技術を身に付けるとともに、飼育に必要な各種用品についての使用方法についての理解も深める。	2・通	120	4			○	○	○
	○			ペットショップ販売学	動物倫理や犬・猫販売時の確認点や説明時のポイント、注意点を学ぶ。また、犬・猫のフードやサークルなどの用品の特徴と使用方法についても学ぶ。	2・通	60	4	○		○	○	
	○			飼育管理(1)	ペット飼育されている小動物・鳥類の生態や習性、飼育管理知識と必要な用品の使用方法を習得し、ペットショップでの飼育および販売に携わるための基礎知識を身に付ける。	1・通	60	4	○		○	○	
	○			飼育管理(2)	1年次に学習した基礎を応用し、より高度な飼育管理方法、様々な飼育用品やフードの説明をお客様にアドバイスできるように知識を身に付ける。また、関連科目との連携を強め、繁殖、病気についても合わせて学ぶ。	2・通	60	4	○		○	○	
	○			飼育管理実習(1)	飼育動物の給餌や清掃の管理をとおして、小動物や鳥類の日常の管理方法を学ぶ。また、総合ペットショップに出向き、学校で学んだ知識と技術を店頭で実践する管理実習も行う。	1・通	120	4			○	○	○
	○			飼育管理実習(2)	1年次に身につけた基本的な動物の管理技術をより正確に、迅速に行うほか、繁殖の実践や病気の予防を目的とした環境作りについても実習をとおして身に付ける。	2・通	120	4			○	○	○
	○			小動物の病気と健康管理	小動物、鳥類が罹患しやすい病気やその症状についての知識を習得する。また、それらの病気を未然に防ぐために必要な管理方法についても学ぶ。	1・後	30	2	○		○	○	
	○			小動物繁殖学	ウサギやインコ、ハムスター等の小動物の繁殖方法を学習する。また、繁殖を希望する飼い主への適切なアドバイスができるよう、生体ごとに適した繁殖環境についても学ぶ。	2・前	30	2	○		○	○	○
	○			総合学習(1)	ペット関連企業からの特別講義や企業説明会の実施に加え、様々な行事や各実習の補完となる講義・実習を行う。また、動物関連の観光施設へ出向く見学研修を行い、総合的に業界理解を深める。	1・通	60	4	○		○	○	
	○			総合学習(2)	ペット関連企業からの特別講義や企業説明会の実施に加え、様々な行事や各実習の補完となる講義・実習を行う。また、動物関連の観光施設へ出向く見学研修を行い、総合的に業界理解を深める。	2・前	30	2	○		○	○	
	○			爬虫類・両生類・昆虫学	爬虫類・両生類・昆虫の飼育環境や保定方法、給餌等、各生体に合わせた飼育知識について学ぶことで飼育者への適切なアドバイスができる能力を身に付ける。	2・後	30	2	○		○	○	
	○			爬虫類実習(1)	実習室で飼育している様々な種類の爬虫類・両生類・昆虫の基本的な飼育管理方法について実習授業をとおして身に付ける。	1・通	60	2			○	○	○

25	○	爬虫類実習(2)	1年次に修得した管理方法を応用し、より生息地域に近い環境の再現や病気予防、飼育環境のリセットから立ち上げまでを行う力を身につける。	2・通	60	2				○	○	○		
26	○	販売士演習	店舗に並ぶ様々な商品の流通や店内のレイアウト、接客マナー等の販売業に携わる知識を学び、知識習得の証明となる「リテールマーケティング3級」の取得を目指す。	1・通	90	6			○		○			○
27	○	プレゼンテーション	「Microsoft PowerPoint」の基本操作を身に付け、スライドの作成、プレゼンテーションの準備からリハーサル、そして本番までの流れを実践的に学ぶ。	2・通	60	2				○	○		○	
28	○	ペットショップ会計	売上げや仕入れ計算などの経営に必要な会計の基礎を学び、簿記検定の取得を目指す。	1・通	60	4		○				○		○
29	○	ドッググルーミング実習	犬の健康管理に繋がるグルーミングについて実習をおとして学ぶ。健康管理方法に加えて犬の身体的特徴を学ぶことにより、犬に対する生態の理解を深める。	2・通	120	4				○	○			○
30	○	POP広告実習	販売における商品展示の基礎について学ぶ。販売促進のPOP広告の作成や視覚効果を狙った店舗のレイアウトについても学ぶ。	2・通	120	4				○	○			○
合計					30	科目	1710 単位(単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	所定の年限以上在学し、各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し卒業を認める。	1	2
履修方法:	各授業科目において、5分の4以上出席した者に対し履修を認める。	1	15

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。